

令和4年度 体育 シラバス

科目名	体育	単位数	3 単位	対象 部・年次	1 部・2 部・3 部 2 年次
使用教材					
教科書等	『現代高等保健体育』改訂版（大修館）		副 教 材	なし	
学習の目標					
各種の運動を通じて、知識を深めるとともに技能を高める中で、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。また、健康・安全を確保して、卒業後に少なくとも1つの運動が継続できるような資質や能力を育てる。					
学習計画					
学期	学習内容		学習のねらい		
前期	体づくり運動 ソフトボール 卓球 バスケットボール バドミントン		各領域、各種の運動を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、生涯を通じて継続的に運動ができる能力を育てる。		
後期	バレーボール ハンドボール 陸上競技 サッカー テニス ダンス 体育理論		各領域、各種の運動を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、生涯を通じて継続的に運動ができる能力を育てる。		
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解	
趣旨	運動の楽しさや喜びを味わうことができるように、健康・安全を確保して、自ら積極的に取り組もうとしている。	生涯にわたってスポーツを継続するために、課題を見つけ、解決するための方法を工夫しようとしている。	各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付け、相手との攻防を行うことができる。	選択した運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題の解決方法、練習の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方を理解している。	
評価の方法	授業への参加を評価する。授業への取り組む姿勢を評価する。	試合や技能練習での課題解決を考えているかを評価する。	実技試験を行い、運動技能の習得を評価する。	ルールや技能の名称などを理解しているかを評価する。	
配点 (pt)	300	200	300	200	
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 実技科目なので、欠席をしないようにする。 2. 自他の健康・安全に配慮して、積極的に授業に参加をする。					

令和4年度 保健 シラバス

科目名	保健	単位数	1 単位	対象 部・年次	1 部・2 部・3 部 2 年次
使用教材					
教科書等	『現代高等保健体育』改訂版（大修館）			副教材	なし
学習の目標					
個人および社会生活における健康・安全についての課題を知り、解決するための方法を考える。また、生涯を通じて自らの健康を実生活中で適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。					
学習計画					
学期	学習内容			学習のねらい	
前期	＜ 2 単元 生涯を通じる健康＞			思春期と健康、性意識と性行動の選択、結婚生活と健康、妊娠・出産と健康、家族計画と人工妊娠中絶、加齢と健康、高齢者のための社会的取り組み、保健制度とその活用、医療制度とその活用、医薬品と健康、さまざまな保健活動や対策について、日常生活で起こりえる自分自身の健康課題として捉え、適切な意思決定や行動選択をすることができるようになる。	
後期	＜ 3 単元 社会生活と健康＞			大気汚染と健康、水質汚濁・土壌汚染と健康、健康被害の防止と環境対策、環境衛生活動のしくみと働き、食品衛生活動のしくみと働き、食品と環境の保健と私たち、働くことと健康、労働災害と健康、健康的な職業生活について、日常生活で起こりえる自分自身の健康課題として捉え、適切な意思決定や行動選択をすることができるようになる。	
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度			思考・判断	知識・理解
趣旨	現代の健康課題について興味関心を持ち学習に取り組もうとしている。			社会の中の一員として適切な意思決定、行動選択を考えようとしている。	個人生活や社会生活における健康・安全について理解を深めようとしている。
評価の方法	学習態度や授業への意欲、関心で評価する（授業への取組状況）。			定期考査の中に「思考・判断」を問う問題を出題し、評価する。	定期考査の中に「知識・理解」を問う問題を出題し、評価する。
配点 (pt)	400			300	300
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1．授業に対して意欲的に参加し、発問等に関して自分の考えを答えるようにする。 2．自分の日常生活と照らし合わせながら、健康課題を考えるようにする。					

令和4年度 体育 シラバス

科目名	体育	単位数	2 単位	対象 部・年次	1 部・2 部・3 部 3 年次
使用教材					
教科書等	『現代高等保健体育』（大修館）			副 教 材	なし
学習の目標					
各種の運動を通じて、知識を深めるとともに技能を高める中で、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。また、健康・安全を確保して、卒業後に少なくとも1つの運動が継続できるような資質や能力を育てる。					
学習計画					
学期	学習内容			学習のねらい	
前期	体づくり運動 ソフトボール ハンドボール バレーボール 卓球			各領域、各種の運動を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、生涯を通じて継続的に運動ができる能力を育てる。	
後期	バスケットボール バドミントン 陸上競技 サッカー テニス ダンス 体育理論			各領域、各種の運動を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、生涯を通じて継続的に運動ができる能力を育てる。	
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度		思考・判断	運動の技能	知識・理解
趣旨	運動の楽しさや喜びを味わうことができるように、健康・安全を確保して、自ら積極的に取り組もうとしている。		生涯にわたってスポーツを継続するために、課題を見つけ、解決するための方法を工夫しようとしている。	各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付け、相手との攻防を行うことができる。	選択した運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題の解決方法、練習の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方を理解している。
評価の方法	授業への参加を評価する。授業への取り組む姿勢を評価する。		試合や技能練習での課題解決を考えているかを評価する。	実技試験を行い、運動技能の習得を評価する。	ルールや技能の名称などを理解しているかを評価する。
配点 (pt)	300		200	300	200
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 実技科目なので、欠席をしないようにする。 2. 自他の健康・安全に配慮して、積極的に授業に参加をする。					

令和4年度 体育 シラバス

科目名	体育	単位数	2 単位	対象 部・年次	1 部・2 部・3 部 4 年次
使用教材					
教科書等	『現代高等保健体育』（大修館）			副 教 材	なし
学習の目標					
各種の運動を通じて、知識を深めるとともに技能を高める中で、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。また、健康・安全を確保して、卒業後に少なくとも1つの運動が継続できるような資質や能力を育てる。					
学習計画					
学期	学習内容			学習のねらい	
前期	体づくり運動 ソフトボール ハンドボール バレーボール 卓球			各領域、各種の運動を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、生涯を通じて継続的に運動ができる能力を育てる。	
後期	バスケットボール バドミントン 陸上競技 サッカー テニス ダンス 体育理論			各領域、各種の運動を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、生涯を通じて継続的に運動ができる能力を育てる。	
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度		思考・判断	運動の技能	知識・理解
趣旨	運動の楽しさや喜びを味わうことができるように、健康・安全を確保して、自ら積極的に取り組もうとしている。		生涯にわたってスポーツを継続するために、課題を見つけ、解決するための方法を工夫しようとしている。	各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付け、相手との攻防を行うことができる。	選択した運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題の解決方法、練習の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方を理解している。
評価の方法	授業への参加を評価する。授業への取り組む姿勢を評価する。		試合や技能練習での課題解決を考えているかを評価する。	実技試験を行い、運動技能の習得を評価する。	ルールや技能の名称などを理解しているかを評価する。
配点 (pt)	300		200	300	200
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 実技科目なので、欠席をしないようにする。 2. 自他の健康・安全に配慮して、積極的に授業に参加をする。					

令和4年度 体育 シラバス

科目名	体育	単位数	1 単位	対象 部・年次	1 部・2 部 3 年次・4 年次(自由選択)
使用教材					
教科書等	なし			副 教 材	なし
学習の目標					
各種の運動を通じて、知識を深めるとともに技能を高める中で、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。また、健康・安全を確保して、卒業後に少なくとも1つの運動が継続できるような資質や能力を育てる。					
学習計画					
学期	学習内容		学習のねらい		
前期	バスケットボール テニス ソフトボール		各領域、各種の運動を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、生涯を通じて継続的に運動ができる能力を育てる。		
後期	バドミントン 卓球 サッカー		各領域、各種の運動を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、生涯を通じて継続的に運動ができる能力を育てる。		
観点別評価及びその配点					
観点	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解	
趣旨	運動の楽しさや喜びを味わうことができるように、健康・安全を確保して、自ら積極的に取り組もうとしている。	生涯にわたってスポーツを継続するために、課題を見つけ、解決するための方法を工夫しようとしている。	各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付け、相手との攻防を行うことができる。	選択した運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題の解決方法、練習の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方を理解している。	
評価の方法	授業への参加を評価する。授業への取り組む姿勢を評価する。	試合や技能練習での課題解決を考えているかを評価する。	実技試験を行い、運動技能の習得を評価する。	ルールや技能の名称などを理解しているかを評価する。	
配点 (pt)	300	200	300	200	
評価					
観点別評価の合計点(1000pt)により、10 段階評価を行う。					
学習のアドバイス等					
1. 実技科目なので、欠席をしないようにする。 2. 自他の健康・安全に配慮して、積極的に授業に参加をする。					